

# 北海道爬虫両棲類研究会第12回大会

## プログラム

北海道爬虫両棲類研究会では下記の予定で、一般聴講も可能な講演会を行います。北海道ならではの両生類や爬虫類の様々なお話、現状などをお伝えする会となっております。第12回は中島直久先生による「カエルの声が教えてくれる本当の分布～種判別モデルで解き明かす北海道の外来両生類～」と岡宮久規先生による「エゾサンショウウオの自然史：生活史の多様性と幼形成熟現象」です。

**感染症が蔓延している季節となっております。** マスク等による自衛をお願いいたします。また、会場受付には配布できるマスクと、消毒用のアルコールをご用意させていただきますので、必要な方はご利用ください。

### 場所

札幌市円山動物園・動物園センター・ホールにて

1月25日(土) 開演 9:50～

9:50～10:00 開会あいさつ

10:00～10:50 基調講演：カエルの声が教えてくれる本当の分布～種判別モデルで解き明かす  
北海道の外来両生類～ ○中島直久先生

10:50～11:00 質疑応答

11:00～11:50 基調講演：エゾサンショウウオの自然史：生活史の多様性と幼形成熟現象 ○岡宮久規先生

11:50～12:00 質疑応答

12:00～12:30 北海道爬虫両棲類研究会の総会

13:00～15:00 研究発表(5題)、ハーブソン Hokkaido2024 結果報告を予定

15:00 閉会あいさつ

### 料金

聴講は無料です。動物園への入園料は各自でお支払いをお願いいたします。

### 講師紹介

#### 中島直久氏

1984年福岡県福岡市生まれ。帯広畜産大学環境農学研究部門助教。宇都宮大学農業環境工学分野で博士号を取得。建設コンサルタントに勤務するも、生態系研究への憧れを捨てられず研究職へ転身。そこから北へ北へ流れて帯広の地に落ち着く。職場は農業環境工学。

#### 岡宮久規氏

1991年東京都杉並区生まれ。ふじのくに地球環境史ミュージアム主任研究員。首都大学東京(現東京都立大学)大学院理学研究科博士後期課程修了。博士(理学)。北海道大学北方生物圏フィールド科学センター学術研究員などを経て2022年より現職。専門は両生類の自然史・生態学。

研究発表題（当日に増減及び順番の入れ替えの可能性あり）発表 12 分,質疑応答 3 分 発表者に○

① 2024 年の十勝総合振興局における爬虫類両生類調査報告

○徳田龍弘・池田亨嘉・佐々木史江・住川夢・堤公宏・吉岡凜

② 捕食者に誘導された形態が両生類幼生の逃避パフォーマンスを決定する

○松浦なる・Raj Rajeshwar Malinda・川嶋宏彰・岸田治

③ 2024 年十勝のヒガシニホントカゲの分布はどこまでわかったか？

○池田亨嘉

④ トノサマガエルとトウキョウダルマガエルにおける、より簡便な識別方法の模索

本間裕晟・福地結花・○岡田全

⑤ 北海道の野生の両爬にかかる決まりごと（法律・条例）の解説

○徳田龍弘

番外：ハーブソン Hokkaido 2024 結果発表

○徳田龍弘

懇親会

費用 3,500 円

懇親会は**事前の申し込みのあった方のみ**としております

中国酒菜 味楽にて開催予定。 札幌市中央区北 1 条西 19-2-8 グレーストーンビル 1F